

今すぐ水無月が食べたいんです

浜松市立積志中学校一年（静岡県）

山本 葉子

私が茶道のあるカルチャー部に入ったのは、お茶を好きになるためであり、作法を学ぶためであり、和菓子を食べるためでもありました。私は「まんじゅうの外側の部分は好きだけれど、あんこは苦手」というよく分からない味覚の持ち主でした。そのため、「どうせならあんこも好きになろう」と思ったのです。

実際、それは一瞬でした。最初の茶道の日、みそまんを食べました。そしてそれを食べた時、何故だか急に、あんこが苦手ではなく、ものすごくおいしく感じたのです。お茶は苦く感じましたが、和菓子とならちようど良いと思えました。

どうして急にあんことお茶をおいしく感じたのかは分かりません。そして、それはみそまんだけではありませんでした。

三度目の茶道では、ちまき団子を食べました。外から白

くて丸い団子が見えるようになっていて、見た目も少しおしゃれです。最初どんなものなのか分からなかったのですが、食べられるのか不安でした。けれど食べてみると、普通の団子とは何か違うような食感で、もちもちしていて中にあるこが入っていておいしかったです。中のあんこを私はこしあんだと思っていたのですが、友人によるとつぶあんだそうです。私には、違いがよく分かりません。

しかしある時（何回目かの茶道）、私は本当においしいと感じる和菓子に出会ったのです。それは、水無月でした。三角形で、部活で食べたものは半分の大きさだったらしいのですが、それでもそんなに小さくはなかったです。乳白色（石灰水みたいでした）のうしろの上に、おいしそうなおあんこーそれがつぶあんなのかただの小豆のかは私には知りませんーがのっていました。一口食べるともちもちして、あんこの味がして、うまく言えませんが、とにかくすごくおいしかったです。後から友人がそれが苦手だと知ったとき、「私が食べてあげたかった!」と思ったほどでした。けれどその時、私はその和菓子の名前を水無月だと知りませんでした。

もう一度その和菓子を食べるべく、私は顧問の先生から「水無月」という名前、買った店を聞き出しました。水無月。きれいな名前です。父親は、たまたま休みだった日、私が学校に行っている間に二けん店の店に行ってくれました

が、どちらも買えませんでした。水無月はその時季にしか売っていません。顧問の先生は今週でもう終わりだと言っていました。同じく水無月を買いに行った副顧問の先生からはもっと早く終わると、店の人からの情報をいただきました。

そして、学校から帰ってすぐ買いに行こうとしたりしたのですが、部活や閉店時間、大雨だったこともあり、結局は買えず…。次食べられるのは一年後です。私は水無月を買えた友人の自慢話を、涙をのんで聞くことになりました。

来年。来年こそ、私は絶対に水無月を食べます。水無月が食べられずがっかりしている私に母は、わらび餅を買ってくれましたが、私が食べたいのはわらび餅ではなく、水無月なのです。でも、わらび餅もおいしくいただきました。

もし来年、水無月を食べ逃したら、もう京都に住みます！京都では、その時季になると普通に水無月が売っているそうです。京都には私の友人（成人女性）が住んでいるので、家に泊まらせてもらうことが、できなくはないです。

あと一年。あと一年で、水無月が食べられます。でも、そんなには待てません。私は、今すぐ水無月が食べたいんです！